

野鳥と友達になろう！ ～ ② バードコール ～

8月4日(金)午前10時～
ボランティア5名(大学生1名)
地域の児童・学童の児童と先生
も参加



木村館長がボランティアの皆さんを紹介



自分が選んだ木の枝を、ボランティアの人に手渡してドライバーで穴をあけてもらい、割りばしで穴の大きさを調整、その中にネジを入れて回すとその音が小鳥のさえずりに聞こえます。



児童が来るまでにボランティアの方たちと講座の進行を打ち合わせ



水鳥公園職員 米田洋平氏を巣箱づくりに引き続き講師に迎えて。

●バードコールって何？

バードコールは、鳥の鳴き声とそっくりな音を出すことができる道具です。

●どうして鳥が寄ってくるの？

バードコールの音を聞いた小鳥が縄張り内にライバルが侵入してきたと勘違いし、追い出そうと近づいているのです。とても緊張・警戒しています。

●バードコールの正しい使い方

野鳥が子育てをしている春～初夏にかけてはバードコールを使ってはいけません野鳥の子育ての邪魔になります。秋～冬にちょっとだけ使うだけにしてバードコールで近寄ってきた小鳥は静かに観察することを学びました。

小学生54名が参加、米田氏のお話を聞いた後、学年ごとにそれぞれ別の部屋に分かれて、今回はシジュウカラの声を鳴らすことができるバードコールを作成。

みんな木の部分に鳥や思い思いの絵を描いて完成させていました。



マーカーを
しっかり乾かします。





休養室



マーカーを重ね塗りしながら鳥や模様を書くので
ドライヤーでしっかり乾かして作品を仕上げています。



学習室

各部屋でボランティアの方たちにアドバイスや見守り
をしていただいて作品を作りました。





出来上がったバードコールに
好きな色のひもをつけました。



横断中



大きな道路も安心して渡れました。



少し離れた児童クラブの参加者の移動は、地域の7名の方に見守り隊として協力してもらい大変助かりました。